

第②類医薬品

服用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要なときに読めるよう、大切に保管してください。

非ピリン系解熱鎮痛薬

熱を散じ痛みをとる

東洋薬学 + 西洋薬学

みみずー風散®
®登録商標

みみずはその学名を地竜と云い、太古の昔から民間漢方薬としてかぜやねつさましに用いられてきた貴重な生薬です。
かぜがなかなかおらない、熱もとれない、そのような場合に、みみずを煎じてのめばふしぎによくきくことは古くから知られています。
このように独特の薬効を有するみみずの有効成分を科学的、衛生的にエキスとして抽出し、これにみみず以外の数種の化学薬品を加え、合理的に配剤して薬としたのがみみずー風散です。
東洋薬学と西洋薬学の相乗作用により痛みや熱に優れた効果を示します。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

- (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)
- 次の人は服用しないこと
(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
(3) 15歳未満の小児。
(4) 出産予定日12週以内の妊婦。
 - 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬。
 - 服用前後は飲酒しないこと
 - 長期連用しないこと

👤 相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談すること
(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 授乳中の人。
(4) 高齢者。
(5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(6) 次の診断を受けた人。 心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便
精神神経系	めまい
そ の 他	鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、発熱、のどの痛み、背中の痛み、過度の体温低下

裏面もお読みください

まれに下記の重篤な症状が起きることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。

3. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

〔効能又は効果〕

- (1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
(2) 悪寒・発熱時の解熱

〔用法・用量〕

次の量をなるべく空腹時をさけて服用する。

年 齢	1 回量	1 日服用回数
成人(15才以上)	1 包	1 回

15才未満の小児は服用しないこと。

〔成分・分量〕

1 包(成人の1日服用量)中に次の成分を含んでいます。

はたらき	成 分	含 量
熱を下げる・抗炎症作用	地竜エキス (地竜原生薬として)	7 5 mg (3 0 0 mg)
いたみをやわらげる・熱を下げる	アスピリン	4 5 0 mg
いたみをやわらげる・熱を下げる	アセトアミノフェン	3 0 0 mg
頭重やへん頭痛に効く	無水カフェイン	7 0 mg

添加物：バレイショデンプン

保管及び取り扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
(2) 小児の手の届かない所に保管すること。
(3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)

■お問い合わせ先
天真堂製薬株式会社 お客様相談室
奈良県高市郡明日香村越495の1
電話 0744(54)3088(代表)
受付時間:午前9時から午後5時まで(土、日、祝日を除く)

製造販売元
天真堂製薬株式会社
奈良県高市郡明日香村越495の1
副作用被害救済制度 ☎0120-149-931